

東商けいきょう集計結果

(中小企業の景況感に関する調査)

平成22年1～3月期

【調査結果のポイント】

～4期連続マイナス幅縮小、緩やかながらも改善が続く。

先行きへの期待は強まる～

今期の業況は前回調査時に比べ+5.3ポイント(▲51.6→▲46.3)と4期連続でマイナス幅が縮小、緩やかながらも改善が続いている。来期見通しも前回調査時に比べ+6.3ポイント(▲40.5→▲34.2)となり4期連続でマイナス幅が縮小、先行きへの期待は強まっている。

業種により回復度合いにはばらつきが見られる。卸売業では、自動車・電機関連部品の好調を背景に、前年同期比では業況・売上・採算面で改善、今期水準でも業況・採算面で改善が見られる。また、製造業では、アジアを中心とする輸出好調等を背景に、競争激化による受注単価引下げの影響等から今期水準では業況・売上面で悪化したものの、受注量の増加により前年同期比では業況・売上・採算面で改善が見られる。

【調査要領】

○調査期間：平成22年2月24日～3月2日

○調査対象：東京23区内の中小企業2,366社

○調査項目：業況、売上、採算(経常利益)、資金繰り、民間金融機関の貸出姿勢

○調査方法：FAXおよび経営指導員による聴き取り

○回答数：888社(回答率37.5%)

※有効回答企業の業種別構成

・製造業 237社(26.7%)	・建設業 118社(13.3%)	・卸売業 122社(13.7%)
・小売業 129社(14.5%)	・サービス業 282社(31.8%)	

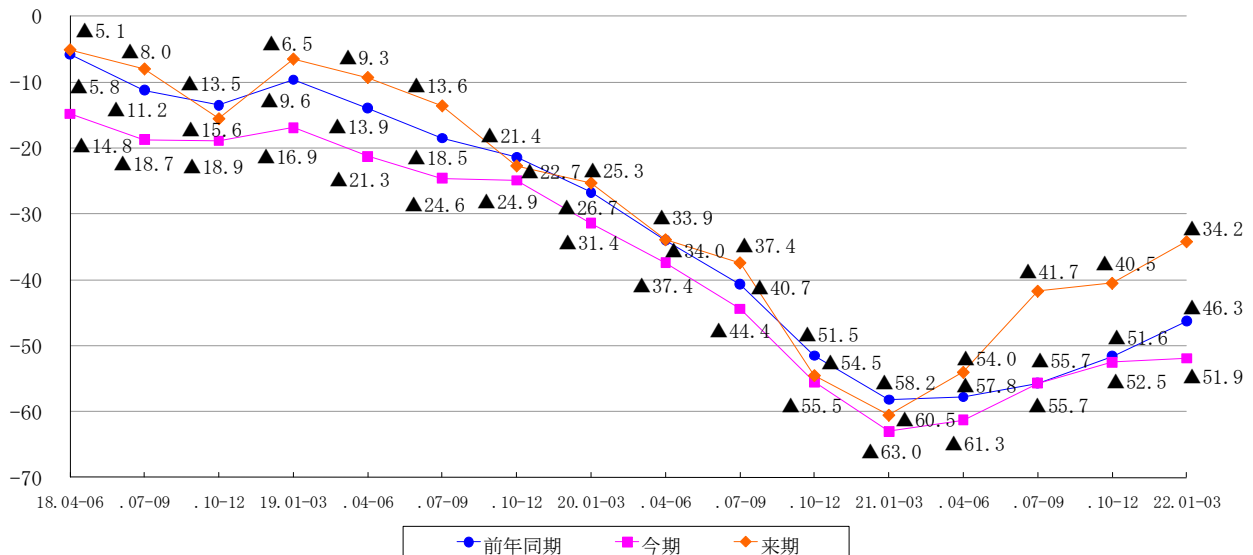
平成22年4月

東京商工会議所 中小企業部

1. 業況

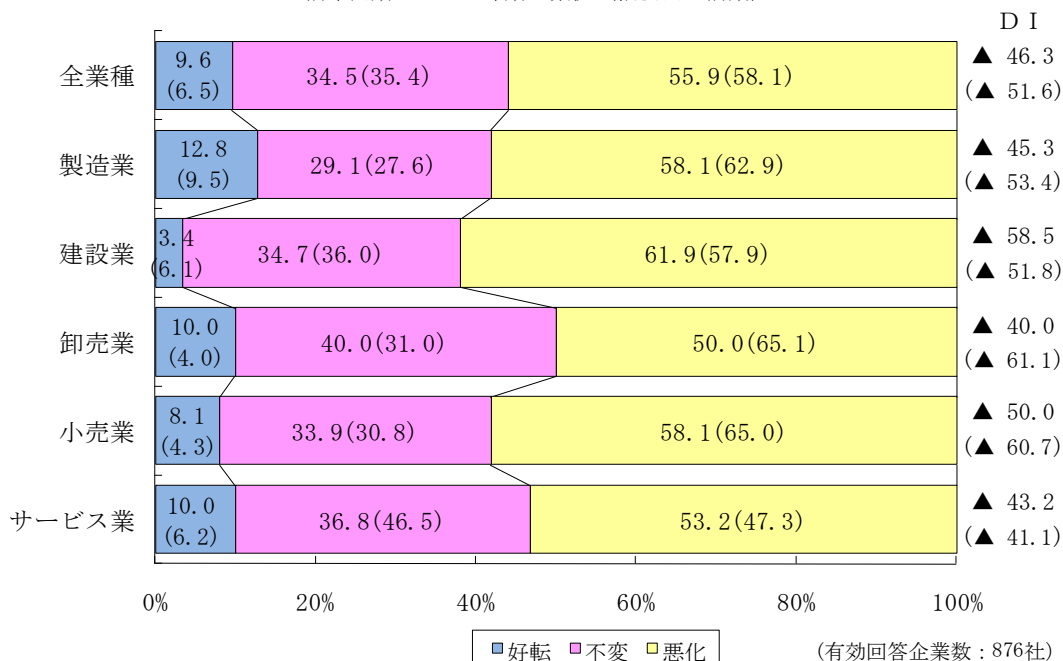
○「業況DI」(全業種)は、前年同期比、来期見通しで4期連続マイナス幅が縮小、今期水準では横ばいとなった。

業況DIの推移(全業種)



【質問1】前年同期(平成21年1~3月期)と比べた今期(平成22年1~3月期)の業況(自社)はどうか。

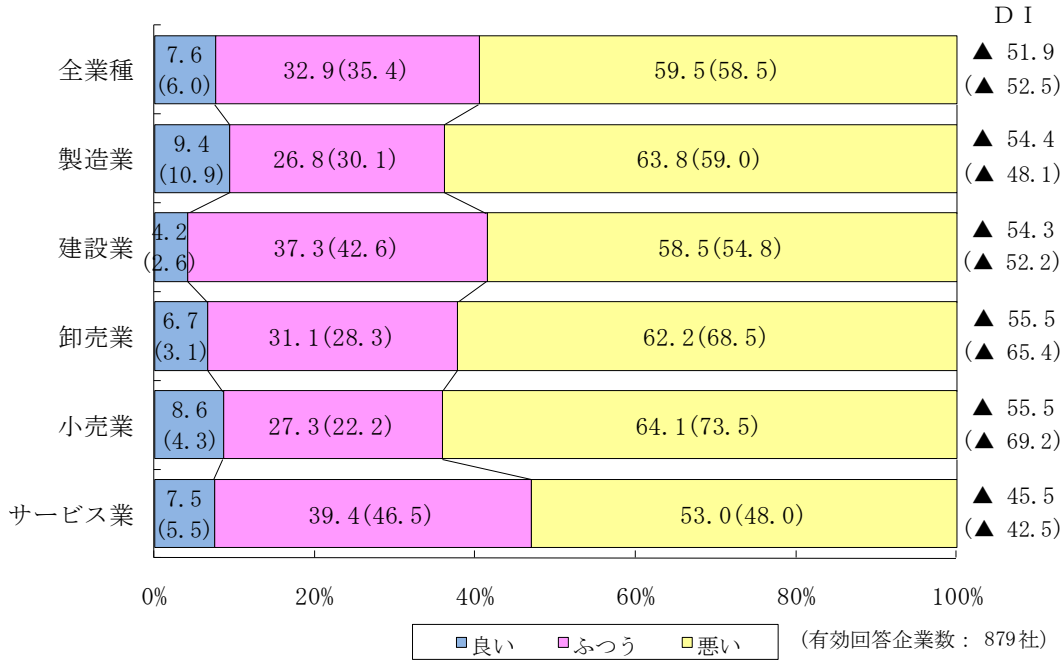
前年同期と比べた今期の業況(括弧内は前期)



- ・全業種の「前年同期と比べた今期の業況DI」は▲46.3と前回調査に比べ+5.3ポイントとなり、4期連続でマイナス幅が縮小した。
- ・製造業、卸売業、小売業でマイナス幅が縮小、特に卸売業では▲40.0と前回調査時に比べ20ポイント以上マイナス幅が縮小、大幅な改善が見られた。建設業とサービス業ではマイナス幅が拡大した。

【質問2】 今期（平成22年1～3月）の業況（自社）水準をどのように感じますか。

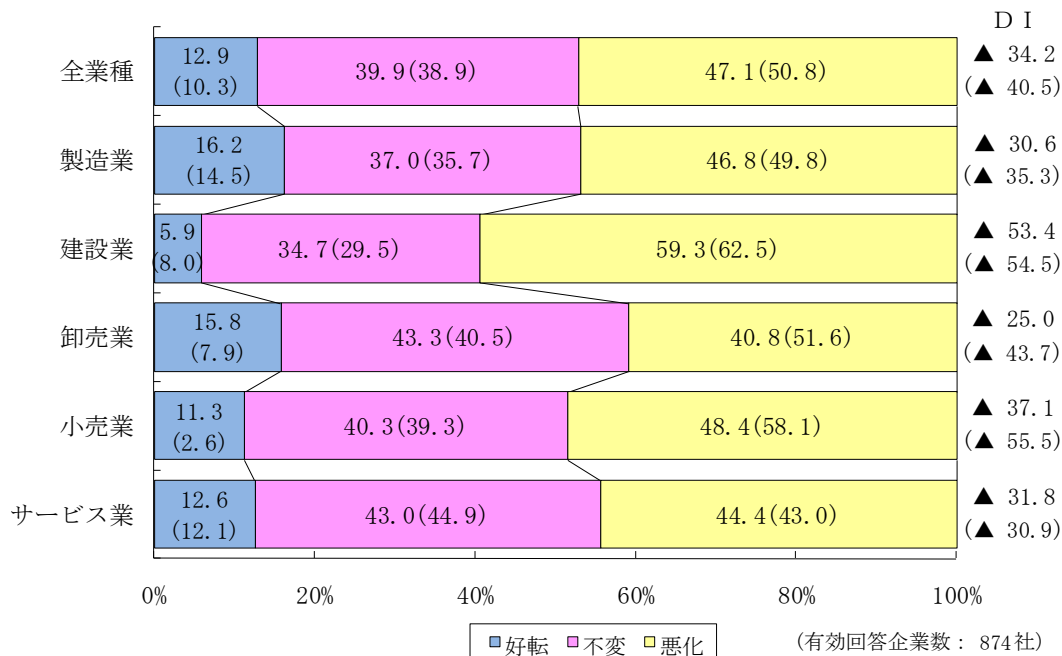
今期の業況水準（括弧内は前期）



- ・全業種の「今期の業況水準DI」は▲51.9と前回調査に比べ+0.6ポイントと横ばいとなった。
- ・卸売業と小売業で前回調査時に比べ10ポイント近くマイナス幅が縮小、大幅な改善が見られた。製造業、建設業、サービス業ではマイナス幅が拡大した。

【質問3】 前年同期（平成21年4～6月期）と比べた来期（平成22年4～6月期）の業況（自社）の見通しはどうか。

前年同期と比べた来期の業況の見通し（括弧内は前期）

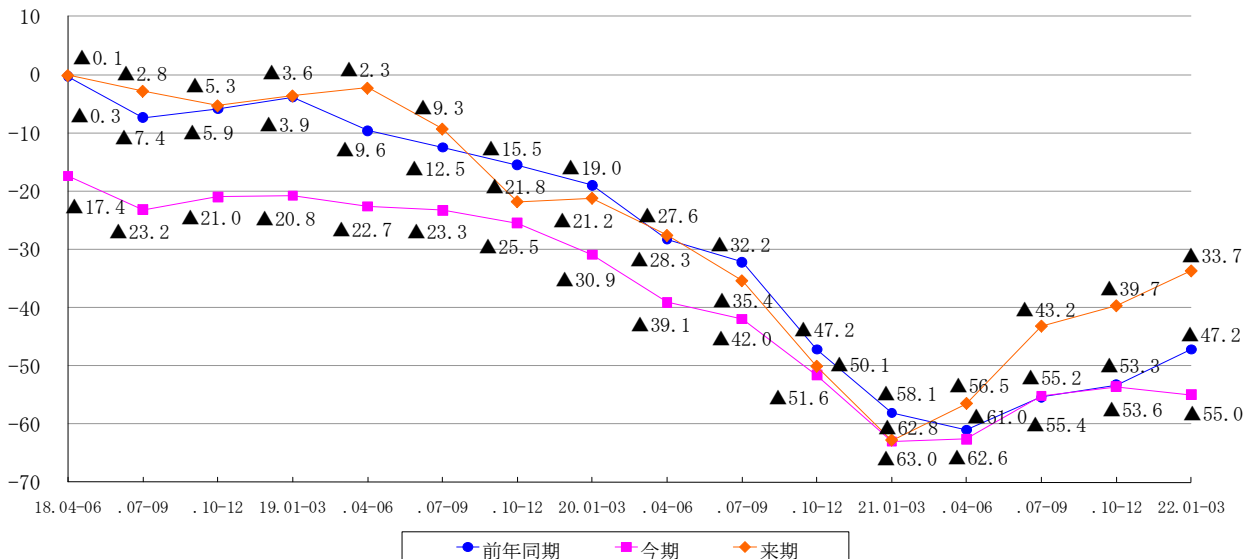


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の見通しDI」は▲34.2と前回調査に比べ+6.3ポイントとなり、4期連続でマイナス幅が縮小した。
- ・製造業、卸売業、小売業でマイナス幅が縮小した。特に卸売業と小売業では前回調査時に比べ20ポイント近くマイナス幅が縮小、大幅な改善が見られた。建設業、サービス業では横ばいとなった。

2. 売上

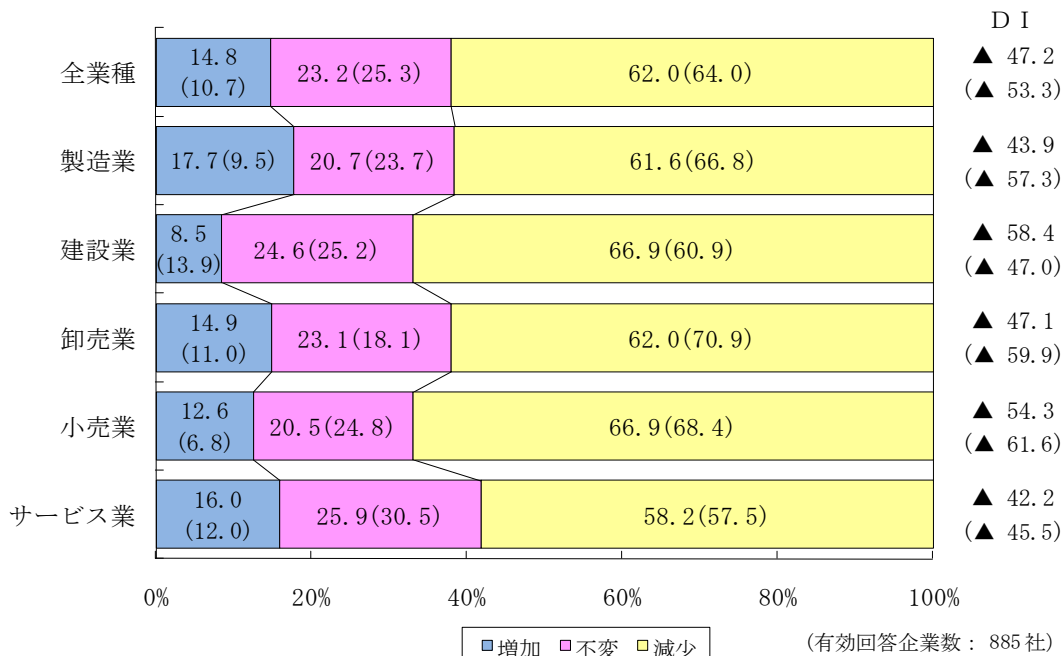
○「売上DI」(全業種)は、前年同期比、来期見通しでマイナス幅が縮小、今期水準では横ばいとなった。

売上DIの推移(全業種)



【質問4】前年同期(平成21年1~3月期)と比べた今期(平成22年1~3月期)の売上状況はどうか。

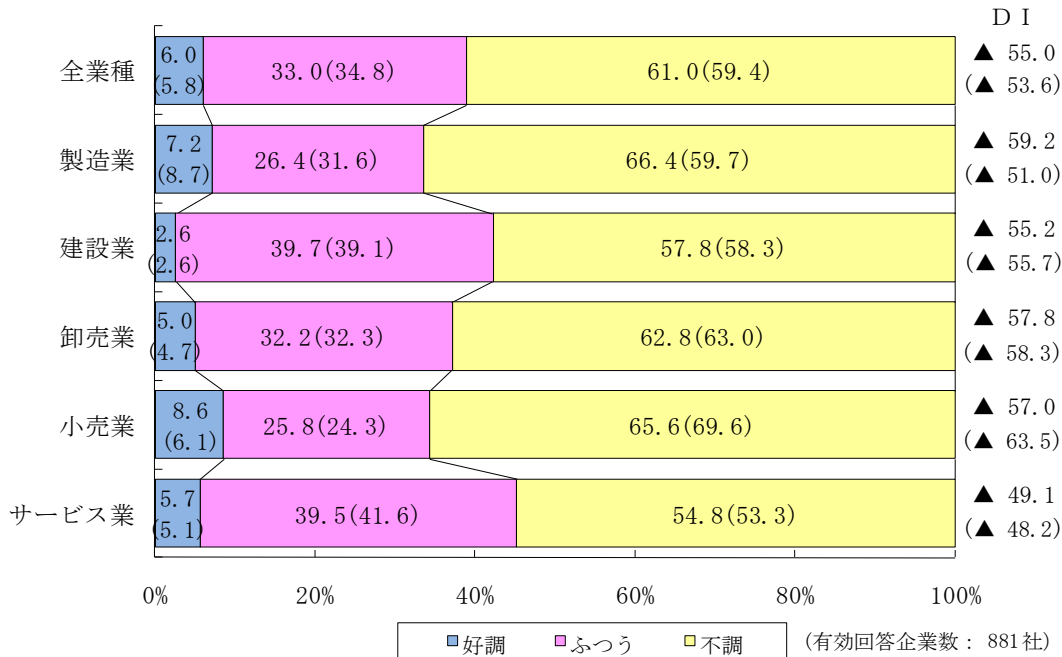
前年同期と比べた今期の売上状況(括弧内は前期)



- ・全業種の「前年同期と比べた今期の売上DI」は▲47.2と前回調査に比べ+6.1ポイントとなり、3期連続でマイナス幅が縮小した。
- ・建設業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。特に製造業と卸売業では前回調査時に比べ10ポイント以上マイナス幅が縮小、大幅な改善が見られた。

【質問5】 今期（平成22年1～3月期）の売上水準をどのように感じますか。

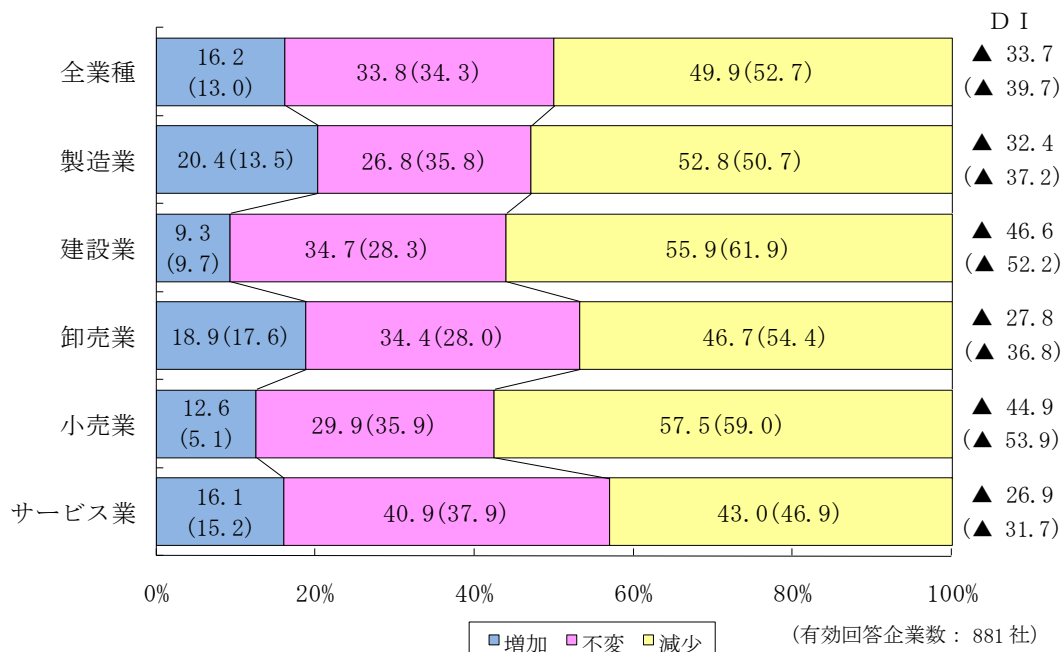
今期の売上水準（括弧内は前期）



- ・全業種の「今期の売上水準DI」は▲55.0と前回調査に比べ-1.4ポイントと横ばいとなった。
- ・製造業ではマイナス幅が拡大したものの小売業ではマイナス幅が縮小、建設業、卸売業、サービス業では横ばいとなった。

【質問6】 前年同期（平成21年4～6月期）と比べた来期（平成22年4～6月期）の売上の見通しはどうか。

前年同期と比べた来期の売上の見通し（括弧内は前期）

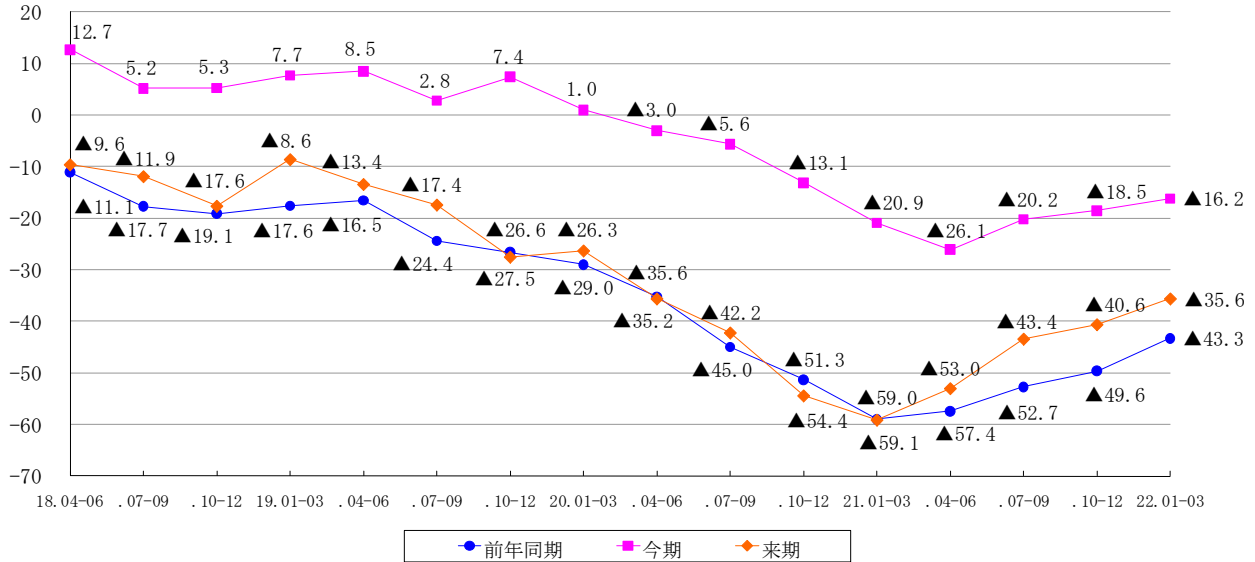


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の売上見通しDI」は▲33.7となり、前回調査に比べ+6.0ポイントとなり、4期連続でマイナス幅が縮小した。
- ・すべての業種でマイナス幅が縮小した。特に卸売業、小売業では10ポイント近くマイナス幅が縮小、大幅な改善が見られた。

3. 採算（経常利益）

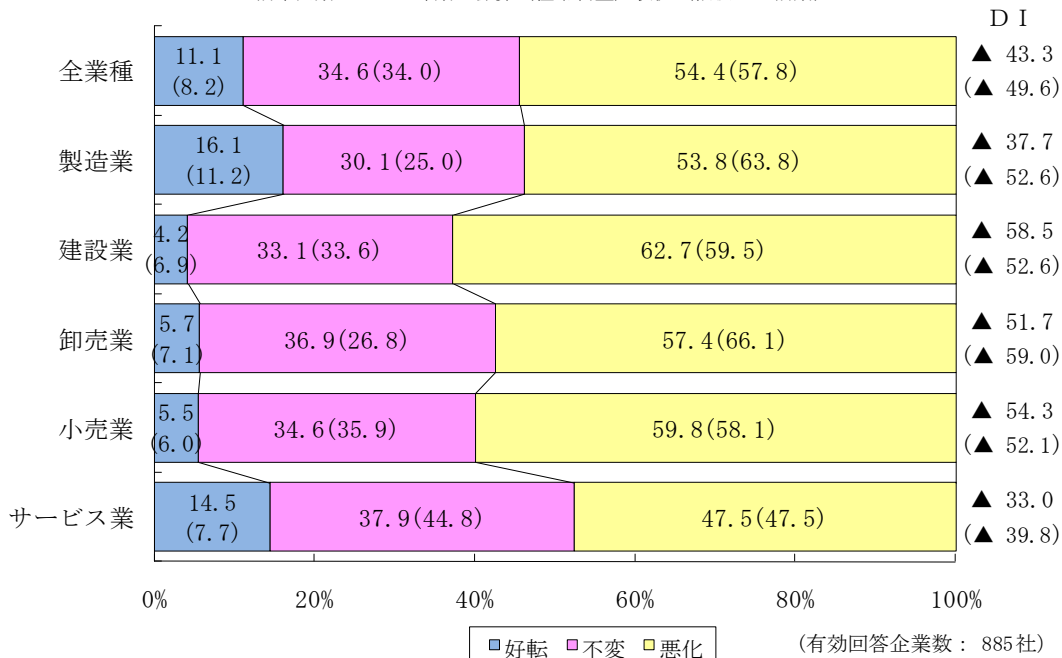
○「採算DI」（全業種）は、前年同期比、今期水準、来期見通しのいずれもマイナス幅が縮小した。

採算DIの推移（全業種）



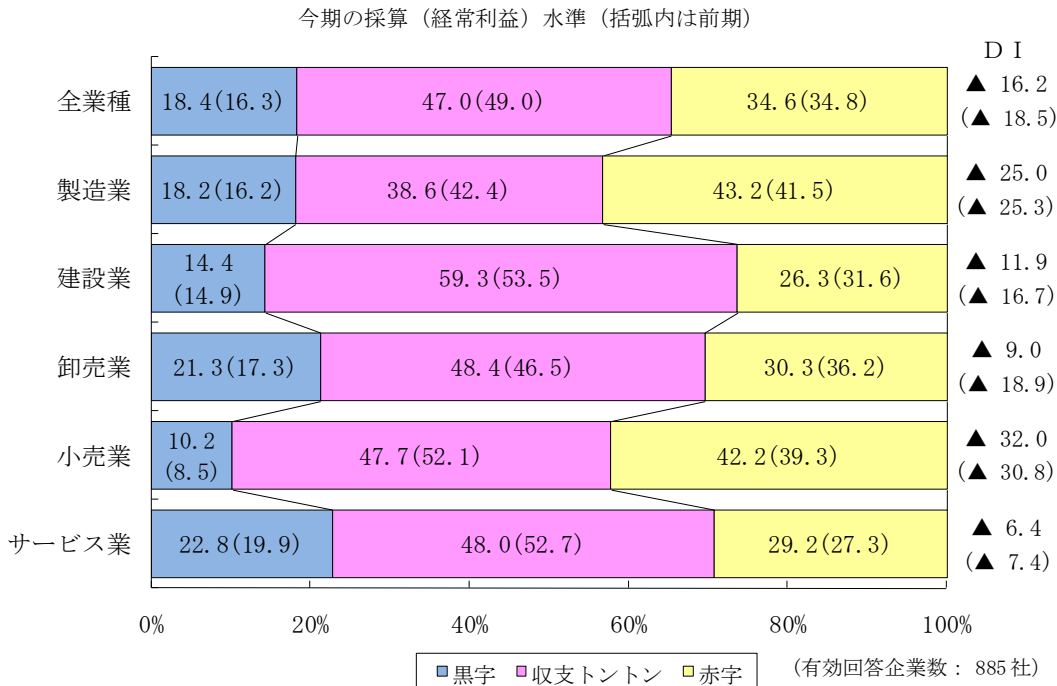
【質問7】前年同期（平成21年1～3月期）と比べた今期（平成22年1～3月期）の採算（経常利益）状況はどうか。

前年同期と比べた今期の採算（経常利益）状況（括弧内は前期）



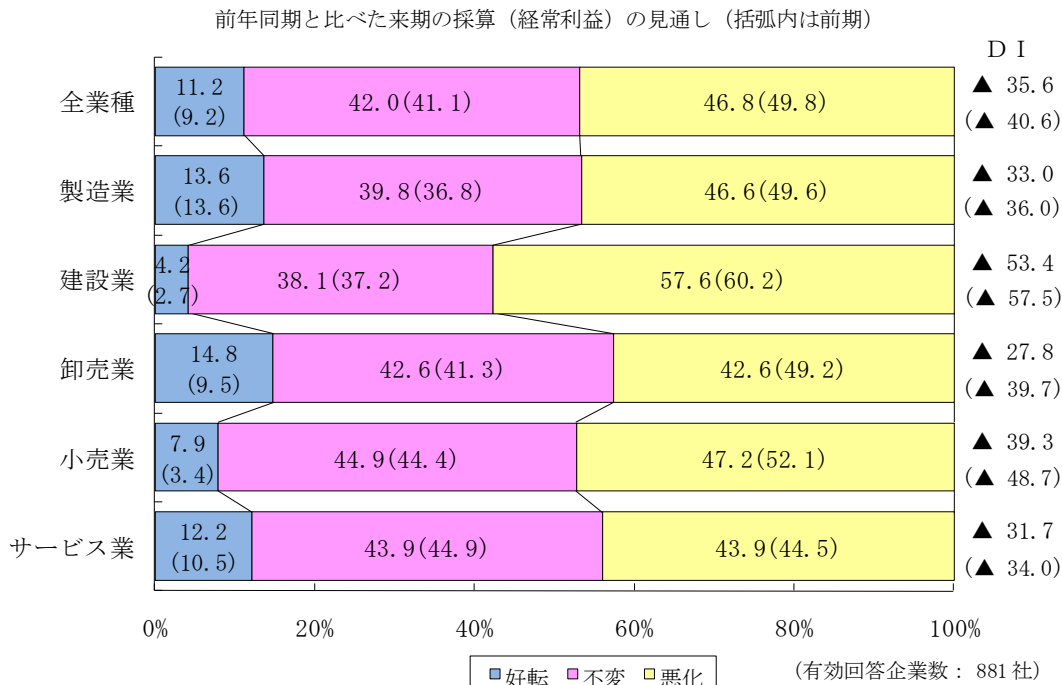
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の採算DI」は▲43.3と前回調査に比べ+6.3ポイントとなり、緩やかながら4期連続でマイナス幅が縮小した。
- ・製造業、卸売業、サービス業ではマイナス幅が縮小、特に製造業では前回調査時に比べ15ポイント近くマイナス幅が縮小、大幅な改善が見られた。建設業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

【質問8】 今期（平成22年1～3月）の採算（経常利益）水準はどうか。



- ・全業種の「今期の採算水準DI」は▲16.2と前回調査に比べ+2.3ポイントとなり、3期連続でマイナス幅が縮小した。
- ・建設業、卸売業でマイナス幅が縮小、特に卸売業では前回調査時に比べ10ポイント近くマイナス幅が縮小、大幅な改善が見られた。その他の業種では横ばいとなった。

【質問9】 前年同期（平成21年4～6月期）と比べた来期（平成22年4～6月期）の採算（経常利益）の見通しはどうか。

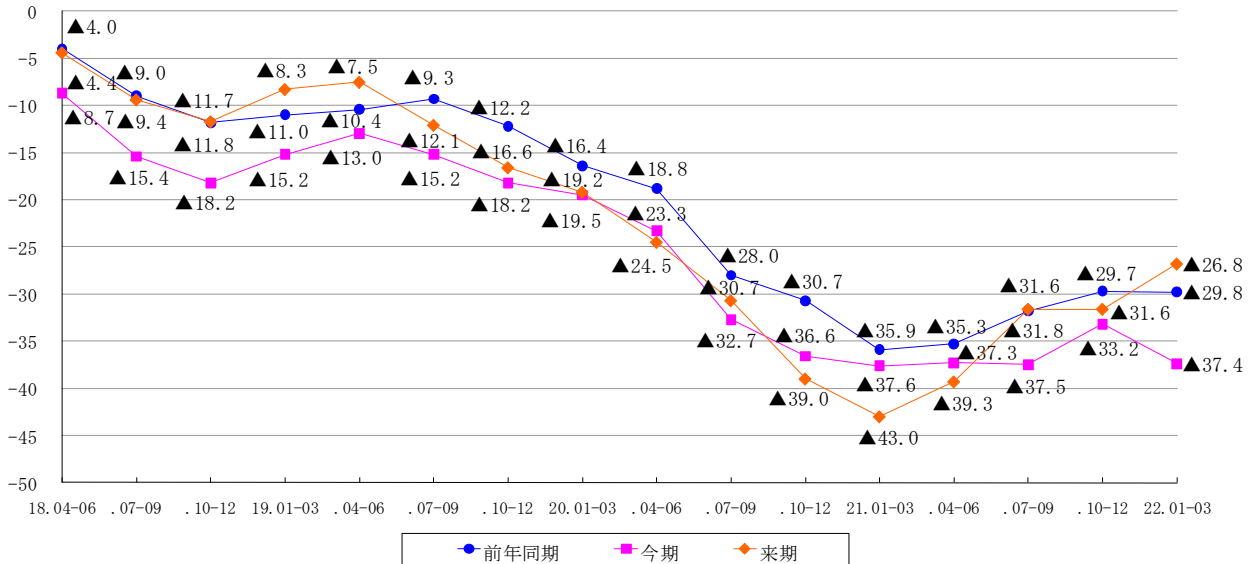


- ・全業種の「前年同期と比べた来期の採算見通しDI」は▲35.6と前回調査に比べ+5.0ポイントとなり、4期連続でマイナス幅が縮小した。
- ・すべての業種でマイナス幅が縮小した。特に卸売業、小売業では10ポイント近くマイナス幅が縮小、大幅な改善が見られた。

4. 資金繰り

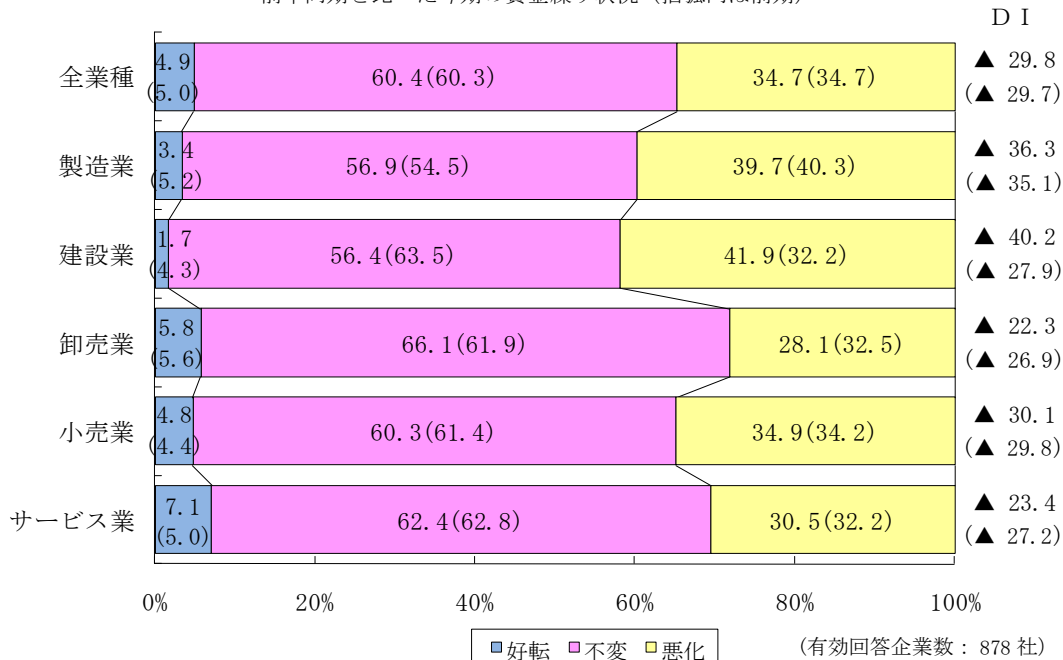
○「資金繰りDI」(全業種)は、前年同期比では横ばい、今期水準ではマイナス幅が拡大、来期見通しではマイナス幅が縮小した。

資金繰りDIの推移(全業種)



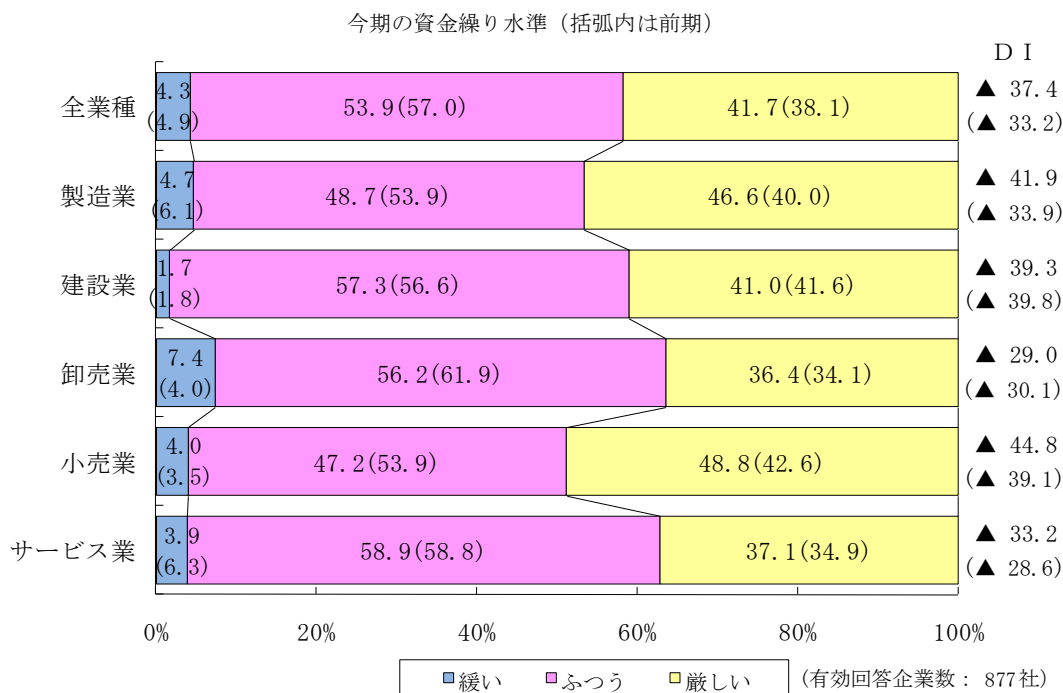
【質問10】前年同期(平成21年1~3月期)と比べた今期(平成22年1~3月期)の資金繰り状況はどうですか。

前年同期と比べた今期の資金繰り状況(括弧内は前期)



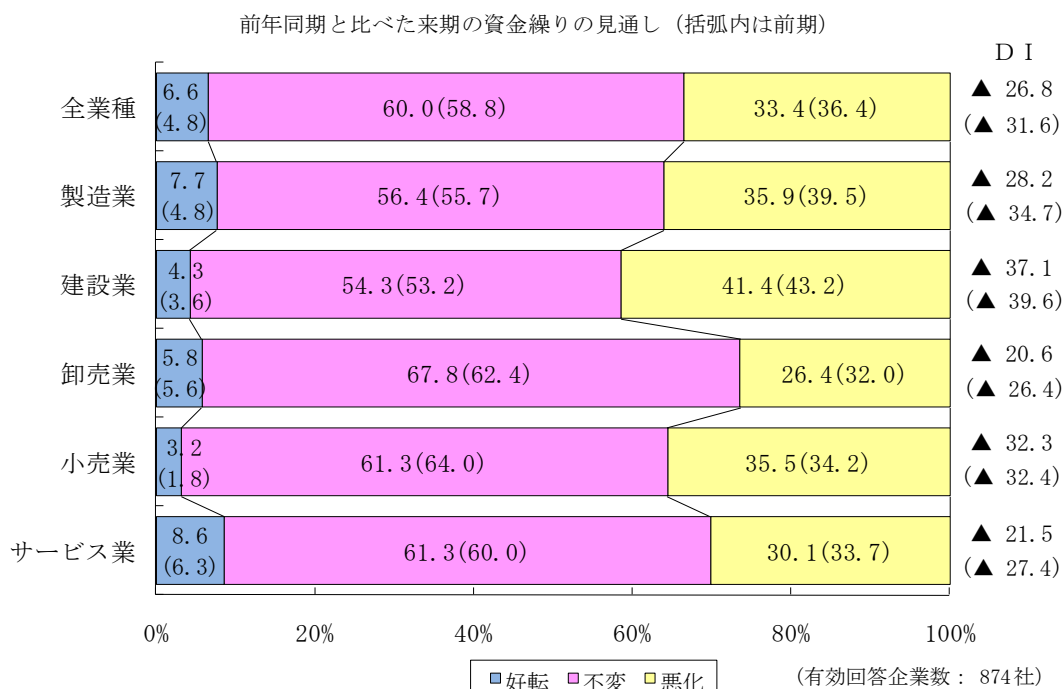
- ・全業種の「前年同期と比べた今期の資金繰り水準DI」は▲29.8と前回調査に比べ0.1ポイントと横ばいとなった。
- ・卸売業、サービス業でマイナス幅が縮小、製造業、小売業では横ばいとなった。建設業のみマイナス幅が10ポイント以上拡大、大幅に悪化した。

【質問 1 1】 今期（平成 22 年 1～3 月期）の資金繰り水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の資金繰り水準 DI」は▲37.4 と前回調査に比べ-4.2 ポイントとなり、マイナス幅が拡大した。
- ・製造業、小売業、サービス業ではマイナス幅が拡大、特に製造業では大幅にマイナス幅が拡大した。建設業、卸売業では横ばいとなった。

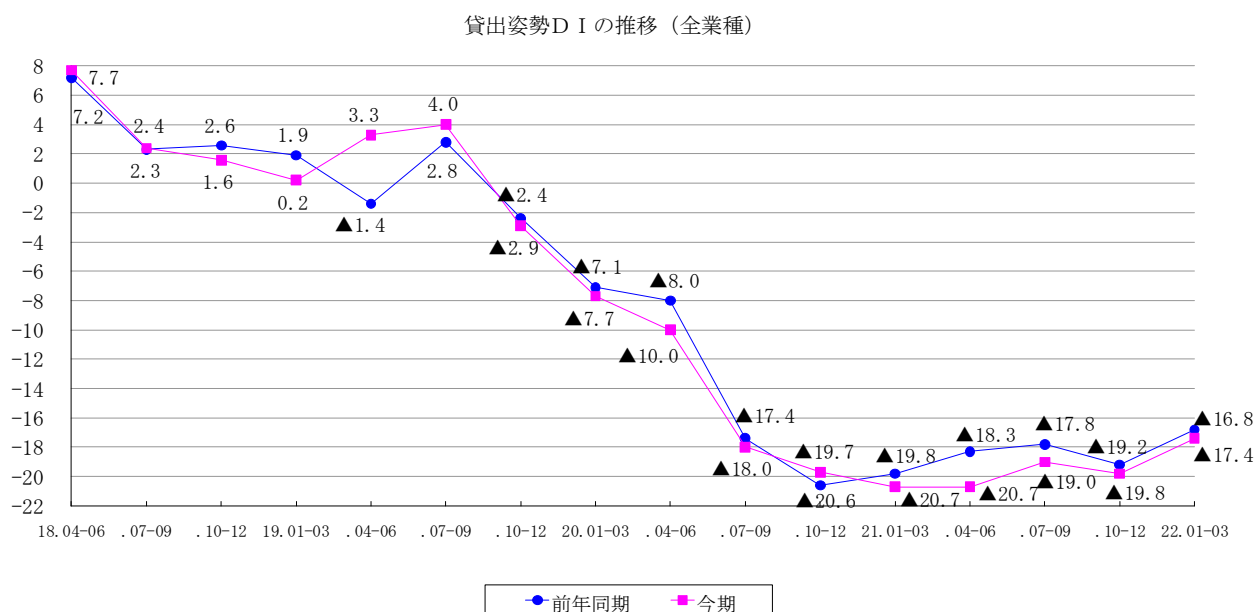
【質問 1 2】 前年同期（平成 21 年 4～6 月期）と比べて来期（平成 22 年 4～6 月期）の資金繰りの見通しはどうか。



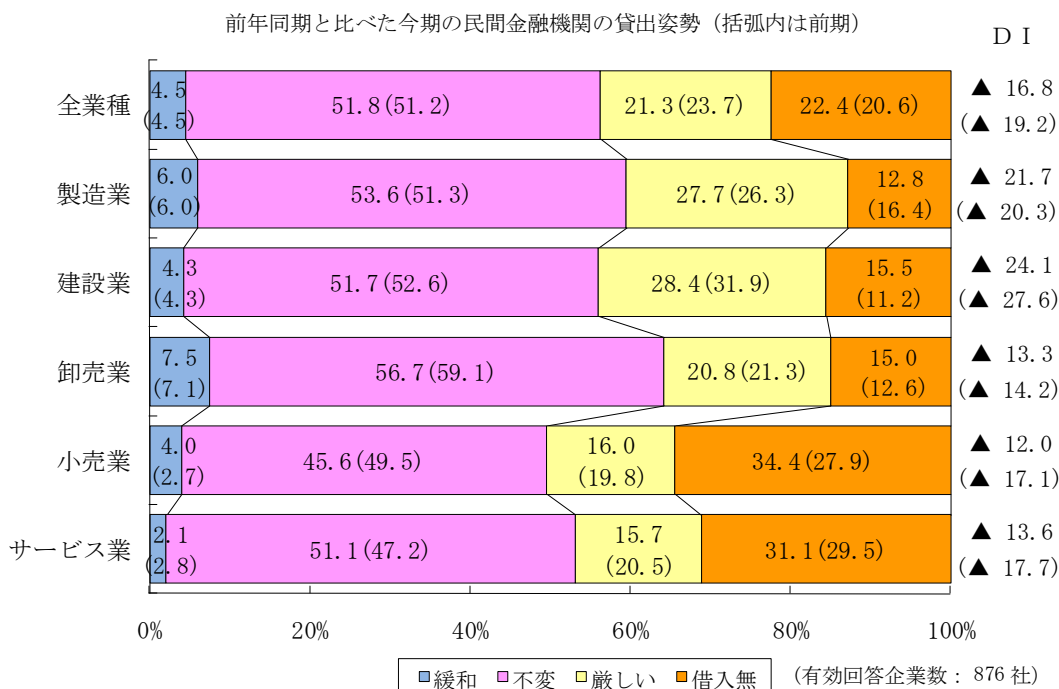
- ・全業種の「前年同期と比べて来期の資金繰り見通し DI」は▲26.8 と前回調査に比べ+4.8 ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・小売業では横ばい、その他の業種ではマイナス幅が縮小した。

5. 民間金融機関の貸出姿勢

○「民間金融機関の貸出姿勢 DI」(全業種)は、前年同期比、今期水準でマイナス幅が縮小した。

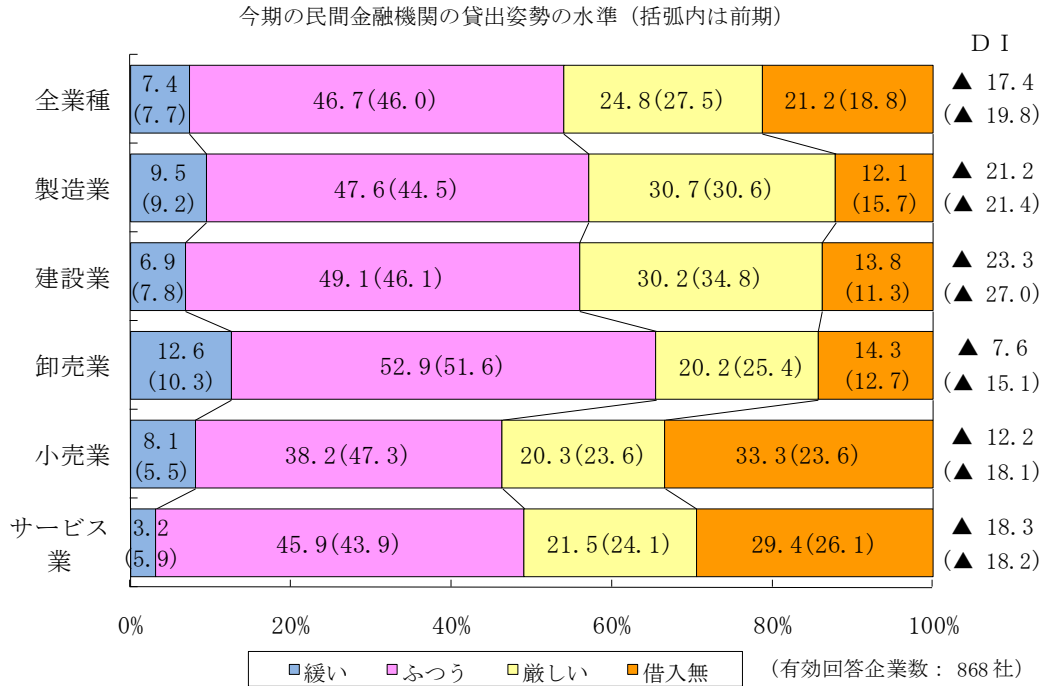


【質問13】前年同期(平成21年1~3月期)と比べて、今期(平成22年1~3月期)の民間金融機関の貸出姿勢は、変化がありましたか。



- ・全業種の「前年同期と比べた今期の民間金融機関の貸出姿勢 DI」は▲16.8 と前回調査時に比べ+2.4ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・製造業、卸売業では横ばい、その他の業種ではマイナス幅が縮小した。

【質問14】今期(平成22年1~3月期)の民間金融機関の貸出姿勢の水準をどのように感じますか。



- ・全業種の「今期の民間金融機関の貸出姿勢 DI」は▲17.4 と前回調査時に比べ+2.4 ポイントとなり、マイナス幅が縮小した。
- ・製造業、サービス業では横ばい、その他の業種ではマイナス幅が縮小した。

- ※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩和」「緩い」とする企業の割合から、「悪化」「悪い」「減少」「不調」「赤字」「厳しい」とする企業の割合を差し引いた値を表す。
- ※ 本集計結果における前期とは、平成21年10月~12月期調査を表す。
- ※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。
- ※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。